

令和 5 年 第 5 回

芦北町議会 12 月定例会会議録

開会 令和 5 年 12 月 12 日

閉会 令和 5 年 12 月 14 日



うたせ船

熊本県芦北町議会

令和５年第５回芦北町議会定例会会期日程

月 日	曜日	日 程
1 2 ・ 1 2	火	本会議（開 会） 諸報告 議長諸般の報告 議員派遣の結果報告 行政報告 町長の提案理由説明 議案審議 （散 会）
1 3	水	休 会（議事整理）
1 4	木	本会議（開 議） 一般質問 議員派遣の件 閉会中の継続調査の申出 （閉 会）

目 次

第1号（12月12日）	頁
1 議事日程	3
2 出席議員氏名	4
3 欠席議員氏名	4
4 説明のため出席した者の職氏名	4
5 事務局職員出席者	5
6 開会 開議	10
第1 会議録署名議員の指名	10
第2 会期の決定について	10
第3 諸報告	10
議長諸般の報告	10
議員派遣の結果報告	10
行政報告	10
第4 町長の提案理由説明	10
第5 議案第49号 令和5年度芦北町一般会計補正予算（第5号）	11
第6 議案第50号 令和5年度芦北町国民健康保険事業特別会計補正予算 （第2号）	17
第7 議案第51号 令和5年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算 （第2号）	18
第8 議案第52号 令和5年度芦北町農業集落排水事業特別会計補正予算 （第2号）	19
第9 議案第53号 令和5年度芦北町生活排水処理事業特別会計補正予算 （第1号）	20
第10 議案第54号 令和5年度芦北町有温泉事業特別会計補正予算 （第2号）	21
（一括議題＝日程第11から日程第13まで）	
第11 議案第55号 芦北町一般職の職員の給与に関する条例及び芦北町一般 職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する 条例の制定について	22
第12 議案第56号 芦北町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正す る条例の制定について	22
第13 議案第57号 芦北町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一	

	部を改正する条例の制定について	22
第14 議案第58号	芦北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	24
第15 議案第59号	芦北町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	25
第16 議案第60号	財産の取得について	26
第17 同意第2号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	27
	(一括議題＝日程第18から日程第19まで)	
第18 諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	28
第19 諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	28
第20	熊本県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	30
7 散 会		31

第2号(12月14日)	頁
1 議事日程	35
2 出席議員氏名	35
3 欠席議員氏名	35
4 説明のため出席した者の職氏名	35
5 事務局職員出席者	36
6 開会 開議	40
第1 一般質問	40
(1) 2番 楠原清照君	40
(2) 3番 長口 隆君	53
第2 議員派遣の件	58
(一括議題＝日程第3から日程第6まで)	
第3 総務厚生常任委員会の閉会中の継続調査の申出	58
第4 建設経済文教常任委員会の閉会中の継続調査の申出	58
第5 議会広報委員会の閉会中の継続調査の申出	58
第6 議会運営委員会の閉会中の継続調査の申出	58
7 閉 会	59

令和５年第５回芦北町議会定例会議事日程（第１号）

令和５年１２月１２日

午前１０時 開 会
於 議 場

１ 議事日程

開会宣告

- 第 １ 会議録署名議員の指名
- 第 ２ 会期の決定について
- 第 ３ 諸報告
 - 議長諸般の報告
 - 議員派遣の結果報告
 - 行政報告
- 第 ４ 町長の提案理由説明
- 第 ５ 議案第４９号 令和５年度芦北町一般会計補正予算（第５号）
- 第 ６ 議案第５０号 令和５年度芦北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）
- 第 ７ 議案第５１号 令和５年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算（第２号）
- 第 ８ 議案第５２号 令和５年度芦北町農業集落排水事業特別会計補正予算（第２号）
- 第 ９ 議案第５３号 令和５年度芦北町生活排水処理事業特別会計補正予算（第１号）
- 第１０ 議案第５４号 令和５年度芦北町有温泉事業特別会計補正予算（第２号）
（一括議題＝日程第１１から日程第１３まで）
- 第１１ 議案第５５号 芦北町一般職の職員の給与に関する条例及び芦北町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第１２ 議案第５６号 芦北町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第１３ 議案第５７号 芦北町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第１４ 議案第５８号 芦北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

第15 議案第59号 芦北町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について

第16 議案第60号 財産の取得について

第17 同意第2号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
(一括議題＝日程第18から日程第19まで)

第18 諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

第19 諮問第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

第20 熊本県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について
(散 会)

2 出席議員（12人）

1番 百 田 翔 吾 君
3番 長 口 隆 君
5番 坂 本 登 君
8番 草 野 安 道 君
10番 川 尻 成 美 君
13番 元 山 秀 志 君

2番 楠 原 清 照 君
4番 林 田 燿 宏 君
6番 寺 本 順 一 君
9番 宮 尾 秀 行 君
11番 寺 本 修 一 君
14番 宮 内 道 則 君

3 欠席議員（2人）

7番 白 坂 康 浩 君

12番 岡 部 恵美子 君

4 説明のため出席した者の職氏名（16人）

町 長	竹 崎 一 成 君	副 町 長	藤 崎 正 司 君
教 育 長	岩 田 繁 義 君	総 務 課 長	松 本 俊 造 君
企画財政課長	白 坂 達 也 君	税 務 課 長	佐 竹 貴 幸 君
住民生活課長	長 崎 十三男 君	福 祉 課 長	池 田 康 浩 君
健康増進課長	田 中 公 広 君	農林水産課長	梶 浩 之 君
商工観光課長	釜 辰 信 君	建 設 課 長	鎌 倉 博 之 君
上下水道課長	平 田 秀 臣 君	教 育 課 長	田 代 忍 君
スポーツ・文化振興課長	岡 田 謙 治 君	コミュニティセンター課長	上 野 孝 司 君

5 職務のため出席した事務局職員の職氏名（2人）

議会事務局長 窪 田 和 彦 君 次 長(主幹) 鎌 田 富士夫 君

議長諸般の報告

- 1 例月現金出納検査結果報告書（別紙のとおり）
- 2 芦北町災害公営住宅（的場尻団地）落成式
期 日 令和5年9月26日（火）
場 所 芦北町大字芦北 現地
- 3 水俣芦北広域行政事務組合議会定例会
期 日 令和5年9月28日（木）
場 所 水俣芦北広域行政事務組合
内 容 水俣芦北広域行政事務組合火災予防条例の一部を改正する条例の制定について外
- 4 南九州西回り自動車道の早期実現に関する後期要望活動
期 日 令和5年9月29日（金）
場 所 国土交通省九州地方整備局（福岡市）
- 5 令和5年度芦北町演能会
期 日 令和5年9月30日（土）
場 所 芦北町民総合センター（しろやまスカイドーム）
- 6 熊本県町村議会議員研修
期 日 令和5年10月6日（金）
場 所 芦北町役場3階議員控室（オンライン形式）
内 容 講演：演題「天地動乱の時代！防災のあり方は？」
～これからの地震・水害にどう備えるか～
講 師 防災・危機管理ジャーナリスト 渡辺 実氏
- 7 水俣・芦北地域振興計画の推進に係る要望活動
期 日 令和5年10月10日（火）～11日（水）
場 所 衆議院議員会館、参議院議員会館及び各関係省庁（東京都）

- 8 芦北町災害公営住宅（園川団地）落成式
期 日 令和5年10月17日（火）
場 所 芦北町大字湯浦 現地
- 9 令和5年度芦北町文化祭
期 日 令和5年10月28日（土）
場 所 芦北町民総合センター（しろやまスカイドーム）
- 10 熊本県町村議会議長会第2回監事会
期 日 令和5年10月31日（火）
場 所 熊本県市町村自治会館
内 容 令和5年度会計中間監査
- 11 第49回熊本県PTA研究大会あしきた・みなまた大会
期 日 令和5年11月11日（土）
場 所 芦北町民総合センター（しろやまスカイドーム）
- 12 球磨川流域橋梁（深水橋・神瀬橋・相良橋・天狗橋）着工式
期 日 令和5年11月11日（土）
場 所 球磨村大字渡 さくらドーム
- 13 芦北町生活安全安心推進協議会
期 日 令和5年11月17日（金）
場 所 芦北町役場3階大会議室
内 容 芦北町の犯罪情勢及び犯罪抑止に向けた取り組み外
- 14 芦北町立湯浦小学校創立150周年記念式典
期 日 令和5年11月19日（日）
場 所 芦北町立湯浦小学校体育館及び運動場
- 15 熊本県関係国会議員への要望と意見交換会
期 日 令和5年11月28日（火）
場 所 全国町村会館
内 容 第67回町村議会議長全国大会における決議・要望事項等

16 第67回町村議会議長全国大会

期 日 令和5年11月29日（水）

場 所 NHKホール（東京都）

内 容 要望、決議、特別決議及び実行運動方法 外

令和5年12月12日

芦北町議会議長 宮内道則

芦町監第23号
令和5年12月11日

芦北町議会議長 宮内道則様

芦北町監査委員 井川良一

芦北町監査委員 長口隆

例月現金出納検査の結果に関する報告の提出について

地方自治法第235条の2第1項の規定により例月現金出納検査を実施したので、同条第3項の規定により、その結果に関する報告を下記のとおり提出します。

記

1 検査の対象

会計管理者の権限に属する現金（歳計現金、一時借入金及び基金並びに歳入歳出外現金）の出納及び保管

2 検査現在期日

令和5年11月30日

3 検査実施日

令和5年12月11日

4 検査の結果及び意見

検査現在期日における歳計現金及び基金並びに歳入歳出外現金（一時借入金なし）の保管状況は、預金通帳、保管現金及び現金保管状況一覧表と照合した結果すべて符合し相違ないこと及び適正に処理されていることを確認した。

また、出納事務については、現金出納にかかる証拠書類及び関係帳表と照合、検査の結果、計数に誤りはなく何ら不正非違の点も見受けられず、すべて適正に処理されていることを認めた。

なお、参考まで検査現在期日における現金の現在高は、次のとおりである。

一般会計・特別会計	歳計現金	464,215,021 円
	一時借入金	0 円
	基金に関する現金	6,201,716,509 円
	歳入歳出外現金	163,932,554 円
	計	6,829,864,084 円
水道事業会計		363,762,645 円

開会 午前 10 時 00 分

-----○-----

○議長（宮内道則君） おはようございます。

ただいまから令和 5 年第 5 回芦北町議会定例会を開会します。

岡部君、白坂君から欠席届が出ております。

これより本日の会議を開きます。

議席に配付の議事日程にしたがって会議を進めてまいります。

-----○-----

第 1 会議録署名議員の指名

○議長（宮内道則君） 日程第 1 「会議録署名議員の指名」を行います。

本定例会の会議録署名議員は、会議規則第 125 条の規定により、4 番 林田君
及び 5 番 坂本君の 2 人を指名します。

-----○-----

第 2 会期の決定について

○議長（宮内道則君） 日程第 2 「会期の決定について」を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、議会運営委員会からの答申に基づき、本日から 12 月 14 日までの 3 日間にしたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、本定例会の会期は、本日から 12 月 14 日までの 3 日間に決定しました。

-----○-----

第 3 諸報告

○議長（宮内道則君） 日程第 3 「諸報告」を行います。

例月現金出納検査結果、議長諸般の報告、議員派遣の結果報告及び町長の行政報告の内容は、議席に配付のとおりです。

以上で、諸報告を終わります。

-----○-----

第 4 町長の提案理由説明

○議長（宮内道則君） 日程第 4 「町長の提案理由説明」を求めます。

竹崎町長。

○町長（竹崎一成君） おはようございます。

本日ここに、芦北町議会 12 月定例会を招集申し上げましたところ、議員各位におかれましては、御出席を賜り、ありがとうございました。

さて、昨年 9 月から整備を進めておりました災害公営住宅につきましては、9 月

に佐敷地区の的場尻団地、１０月に湯浦地区の園川団地が完成いたしました。長期間避難生活を送ってこられた方々の本格的な生活再建の場として、新たな一步を踏み出していかれることに心からエールを送るとともに、本災害公営住宅が新たなコミュニティの形成や地域の活性化につながることを期待しているところです。

また、演能会や文化祭、芦北復興まつりなど、各種イベントも多くの人出で賑わいを見せており、町の活気もコロナ禍以前の水準に戻っている実感をもっております。加えて、旧海浦小学校やサテライトオフィス計石への企業進出など、明るい話題が続いていることは、町により一層の活力を与えるものであり、この良い流れをさらに強固なものにしていきたいと考えております。

一方、復旧事業については、国による直轄治山工事の完了や、球磨川の神瀬橋橋りょう工事の着工、町内各所で行われている復旧工事についても、順調な進捗が見られているところであり、早期完遂に向け、引き続き全力で取り組んでまいります。

それでは、本定例会に付議しました議案につきまして、御説明申し上げます。まず、令和５年度芦北町一般会計及び特別会計に係る補正予算６件、また条例の一部改正５件、財産の取得１件、人事案件３件、合計１５件を提案しております。

御審議いただき、議決賜りますようお願い申し上げます、提案理由の説明といたします。

○議長（宮内道則君） 町長の説明が終わりました。

—————○—————

第５ 議案第４９号 令和５年度芦北町一般会計補正予算（第５号）

○議長（宮内道則君） 日程第５、議案第４９号「令和５年度芦北町一般会計補正予算（第５号）」を議題とします。

本案について説明を求めます。白坂企画財政課長。

○企画財政課長（白坂達也君） 議案第４９号、令和５年度芦北町一般会計補正予算（第５号）について、御説明申し上げます。

今回の補正は、予算の総額に歳入歳出それぞれ３億４，９０４万２，０００円を追加し、総額を１４７億１，３３５万２，０００円とするものでございます。

また、第２条で債務負担行為、第３条で地方債の補正を計上しております。

歳出から御説明申し上げます。予算書は１２ページをお願いいたします。

まず、今回の補正は、款１の議会費から款９の教育費まで、議員期末手当の改定、職員の給与及び賞与の改定並びに会計年度任用職員の職員共済組合負担率の改定等に伴う補正を行っており、総額で１，２７１万８，０００円の増額となっております。

以降、各款の補正につきましては、これらを省略して御説明申し上げます。

款２総務費です。財産管理費の２，６５５万２，０００円は、白石集会場宅地嵩上

げ事業に伴う集会所解体に係るアスベスト調査業務委託料 8 9 万 6, 0 0 0 円及び令和 6、7 年度分の臨時財政対策債償還相当分の普通交付税が前倒し交付されることに伴い、積み立てる減債基金積立金 2, 5 6 5 万 6, 0 0 0 円です。

予算書は 1 3 ページをお願いいたします。

ふるさと創生事業費の 8 1 万 7, 0 0 0 円は、カンボジア派遣事業に係る経費などの増額によるものです。

戸籍住民基本台帳費、予算書 1 4 ページの節 1 2 委託料の 1, 9 0 5 万 2, 0 0 0 円は、住民基本台帳法及び戸籍法の一部改正に伴い、住民票や戸籍等の氏名にふりがなを記載するためのシステム改修に係るものです。

款 3 民生費です。予算書は 1 5 ページをお願いいたします。

社会福祉総務費、節 1 0 事業費 2 6 万 5, 0 0 0 円から、節 1 8 負担金補助及び交付金の 1 億 6, 8 0 0 万円までは、低所得世帯に対する物価高騰対策として、1 世帯当たり 7 万円給付する物価高騰重点支援給付金と、その給付に係る事務費です。

節 2 7 繰出金の 2 2 1 万 8, 0 0 0 円は、国民健康保険事業特別会計への繰出金です。

障害者福祉費の 1, 3 4 5 万 8, 0 0 0 円は、令和 6 年 4 月施行の制度改正等に伴うシステム改修委託料 3 3 万円と、発達障害児の相談申請件数の増加に伴う障害児通所給付費扶助費 1, 3 1 2 万 8, 0 0 0 円です。

高齢者福祉費の 3 1 6 万 9, 0 0 0 円は、介護保険事業特別会計への繰出金です。

後期高齢者医療費の 1, 5 2 0 万 3, 0 0 0 円は、令和 4 年度の療養給付費負担金確定に伴う精算金です。

児童福祉総務費、節 1 8 負担金補助及び交付金の 1 2 6 万 8, 0 0 0 円は、光熱費高騰の影響を受けている保育所等への物価高騰対策支援金、節 1 9 扶助費の 5 6 5 万 8, 0 0 0 円及び母子福祉費の 1 3 万 8, 0 0 0 円は、実績増に伴う子ども医療費、ひとり親等家庭医療費の増額によるものです。

予算書は 1 6 ページをお願いいたします。

款 4 衛生費です。生活排水対策事業費の 1 9 6 万円は、農業集落排水事業特別会計への繰出金 1 1 2 万 1, 0 0 0 円及び生活排水処理事業特別会計への繰出金 8 3 万 9, 0 0 0 円です。

予算書は 1 7 ページをお願いいたします。

款 5 農林水産業費です。農業振興費、節 1 8 負担金補助及び交付金の 7 5 万円は、認定新規就農者に対する経営開始資金補助金です。

予算書は 1 8 ページをお願いいたします。

林業振興費の 7 8 3 万 7, 0 0 0 円は、申請件数増加に伴う木造住宅建築支援事

業補助金４７７万４，０００円及び新規狩猟免許取得者増加に伴う有害鳥獣被害防止対策事業補助金３０６万３，０００円です。

水産業振興費の３０万円は、漁船機械修繕事業補助金です。

予算書は１９ページをお願いいたします。

款６商工費です。商工業振興費の６，２００万円は、物価高騰による町民の負担軽減及び町内店舗における消費喚起のために実施するキャッシュレス決済ポイント還元事業６，０００万円の委託料と、サテライトオフィス等進出支援金２００万円です。

観光費の３５万３，０００円は、町有温泉事業特別会計への繰出金です。

予算書は２０ページをお願いいたします。

款７土木費です。宅地等水防対策費の３６０万６，０００円は、国が実施する宅地嵩上げ事業の事業費増に伴う負担金の増額です。

予算書は２２ページをお願いいたします。

款９教育費です。学校管理費の４２万５，０００円は、実績見込み増に伴う通学費補助金の増額です。

予算書は２３ページをお願いいたします。

文化財費の１３万７，０００円は、歴史資料展示室プロジェクターランプの修繕です。

保健体育総務費、節７報償費の７３万円のスポーツ賞奨励金及び節１８負担金補助及び交付金の１２９万９，０００円のスポーツ振興事業補助金は、いずれも実績見込み増に伴う増額です。

次に、歳入について御説明申し上げます。予算書は１０ページをお願いいたします。

款１０地方交付税は、最後に説明いたします。

款１４国庫支出金です。民生費国庫負担金の６５６万３，０００円は、障害児入所給付費扶助費に係る負担金です。

総務費国庫補助金の２億４，４４９万５，０００円は、キャッシュレス決済ポイント還元事業や低所得世帯への物価高騰対策支援事業等に充当します新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金４２４万９，０００円と、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金２億２，２８５万４，０００円及び住基システム・戸籍システム改修に係る整備費補助金の１，７３９万２，０００円です。

民生費国庫補助金の８２万５，０００円は、障害者自立支援給付審査支払等システム改修に係る補助金１６万５，０００円と、介護保険システム改修に係る補助金６６万円です。

商工費国庫補助金の１５０万円は、サテライトオフィス等進出支援に係る交付金です。

土木費国庫補助金の１１５万９，０００円は、宅地嵩上げ安全確保事業に係る交付金です。

款１５県支出金です。民生費県負担金の３２８万１，０００円は、障害児入所給付費扶助費に係る負担金です。

予算書は１１ページをお願いいたします。

民生費県補助金の６８万７，０００円は、保育所等に対する物価高騰対策事業補助金６３万４，０００円及びひとり親家庭等医療費補助金５万３，０００円です。

農林水産業費県補助金の７５万円は、新規就農者に対する経営開始資金補助金に係るものです。

款１８繰入金です。ふるさとづくり基金繰入金の８１万７，０００円は、ふるさとづくり基金運用事業に充当するものです。

森林経営管理事業基金繰入金の４７７万４，０００円は、木造住宅建築支援事業に充当するものです。

款２０雑入です。雑入の２５５万円は、中山間地域総合整備事業の過年度分返還金です。

款２１町債です。災害復旧費の２４０万円は、宅地嵩上げ安全確保事業に充当するものです。

最後に、款１０地方交付税です。減債基金積立金及び歳入歳出不足額に充当する７，９２４万１，０００円です。

予算書は６ページになります。

第２表債務負担行為補正について、御説明申し上げます。

町有マイクロバス運転業務委託料から小学校教員用教科用図書、指導書及び指導用教科購入費まで、総額３億２，２８３万円を追加するものです。

予算書は７ページをお願いいたします。

第３表地方債補正について、御説明申し上げます。

公共土木施設災害復旧事業を２４０万円増額し、１億５，６５０万円に変更するものです。利率や償還方法等は表に記載のとおりです。

なお、２５ページから２７ページに給与費明細書を、２８ページに債務負担行為の当該年度以降の支出予定額等に関する調書を、２９ページに地方債の現在高の見込み額に関する調書を添付しております。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。川尻君。

○10番（川尻成美君） それでは、歳出のほうですね、民生費の中で社会福祉費の中の18ですけれども、1億6,800万円余の物価高騰による補助金がありますけれども、これは経費も入っているということで、7万円が非課税家庭だけですか、それとも全戸にですか。ちょっと内訳を教えてくださいませんか。それが1点です。

2点目が、20ページの嵩上げ、土木費の住宅等の水防災費ですけれども、嵩上げに伴う補助金が出ておりますけれども、これは何件が嵩上げの対象になっているのか、その2点と、あと1点、6ページ、2表の債務負担行為の件でちょっとお尋ねしますけれども、スクールバス等は委託料については分かりますけれども、小学校教員用教科用図書等の3,442万4,000円は、令和6年で、これは物品なんですけれども、普通は年度を越える場合が債務負担行為ですけれども、単年度なら物品費でいいのじゃないかな、何か理由があってこういう債務負担行為にされるのか、それを詳しくお願いしたいと思います。

○議長（宮内道則君） 池田福祉課長。

○福祉課長（池田康浩君） 御質問にお答えいたします。

まず、民生費の節18の物価高騰重点支援給付金につきましては、住民税非課税世帯が対象となります。こちらに7万円給付となっております。

以上です。

○10番（川尻成美君） 世帯数は。

○福祉課長（池田康浩君） 今現在、こちらのほうで、今回、補正予算に計上しているものは2,400世帯を対象と把握しております。

以上です。

○議長（宮内道則君） 鎌倉建設課長。

○建設課長（鎌倉博之君） お答えいたします。

宅地嵩上げ安全確保事業の負担金につきましては、国が球磨川沿いで行っております事業、地区におきましては簗瀬地区の宇ノ木の1件分でございます。

以上です。

○議長（宮内道則君） 田代教育課長。

○教育課長（田代 忍君） 債務負担行為について、お答えをいたします。

使用する教科書は令和6年度から使用する教科書ですが、購入事務を本年度内から行うために、債務負担のほうに計上させていただいております。

以上です。

○議長（宮内道則君） ほかに質疑はありませんか。元山君。

○13番（元山秀志君） 予算書の19ページ、商工業振興費のキャッシュレス決済ポ

イント還元事業委託料6,000万円について、お尋ねをします。まず、この事業の実施概要、それからこの事業により、どのような効果を見込んでおられるのか、また、昨年と同様の事業が実施されておりますけれども、担当課としてどのような効果があったと分析されておりますでしょうか、お尋ねします。

○議長（宮内道則君） 釜商工観光課長。

○商工観光課長（釜 辰信君） お答えします。

この事業は昨年も行いましたが、キャッシュレス20%の還元ということでございます。物価高騰に伴い、消費の落ち込みが想定されている中、ポイント還元を行うことで町内の消費の活性化が期待されております。令和4年度に実施した際には、キャッシュレス対応事業者及びキャッシュレス利用者が約1.7倍の増加をしております。キャッシュレスによる売上は、4倍から5倍に達しております。このうち、町外の利用者が3分の1を占めるなど、町外からの呼び込みの効果もかなりあっております。また、キャッシュレスにより地域内のDX推進にも寄与したものと考えております。

○議長（宮内道則君） 元山君。

○13番（元山秀志君） 効果等については理解をいたしました。ただ、高齢者など、未だキャッシュレスを利用しておられない方がおられると思いますけれども、その人たちへの対応はどのように考えていらっしゃいますでしょうか。

○議長（宮内道則君） 釜商工観光課長。

○商工観光課長（釜 辰信君） お答えします。

昨年度は高齢者向けに5回のスマホの教室を開催しております。60歳以上の利用者伸び率は、昨年度、全世代で最も多い330%となっております。着実に利用者は増えておると考えております。今回も、スマホ教室の開催を予定しておりますが、ある程度、普及が進んだことで、家庭や職場などで若い世代が高齢者や利用したことのない人に使い方を教える事例も増えておりますので、今後、手軽にキャッシュレスの利用ができるようになることをかなり期待しております。

以上です。

○議長（宮内道則君） ほかに質疑はありませんか。楠原君。

○2番（楠原清照君） お尋ねいたします。

15ページの民生費、18負担金補助及び交付金の1億6,800万円、物価高騰重点支援給付金でございますけれども、今、説明ではですね、住民税非課税世帯に給付するんだというふうなお話ございました。いただくほうはですね、できたら年末に欲しいなと思うんじゃないかなと思うんですけれども、なかなか難しいことはありましようけれども、給付時期はだいたいいつ頃になりますでしょうか。

○議長（宮内道則君） 池田福祉課長。

○福祉課長（池田康浩君） お答えいたします。

今回の7万円給付につきましては、現金給付となっております。ですので、まずもって本日この予算、議決いただきますと、まず非課税世帯、前に3万円の生活応援券があったかと思えますけれども、そちらで申請されている非課税世帯のほうに、振込先の口座の確認が必要となります。そちらの通知を送りまして、早くて年明け10日が一番最初の送金という形で、今、タイムスケジュールを組んでいるところです。

以上です。

○議長（宮内道則君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 討論なしと認めます。

これから議案第49号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、議案第49号は原案のとおり可決しました。

—————○—————

第6 議案第50号 令和5年度芦北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

○議長（宮内道則君） 日程第6、議案第50号「令和5年度芦北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）」を議題とします。

本案について説明を求めます。長崎住民生活課長。

○住民生活課長（長崎十三男君） 議案第50号、令和5年度芦北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について、御説明いたします。

事業勘定の予算の総額に、歳入歳出それぞれ7,937万2,000円を追加し、総額を30億3,375万8,000円とするものでございます。

補正の内容につきまして、予算書をもとに歳出から御説明いたします。

予算書は7ページになります。

款1総務管理費です。項1目1一般管理費の156万2,000円及び項2目1賦課徴収費の65万8,000円は、給与改定等に伴う職員給与費等の補正です。

款2保険給付費です。一般被保険者療養給付費の7,714万5,000円は、医

療費増加に伴う療養給付費の補正です。

款5保健事業費です。特定健康診査等事業費の7,000円は、会計年度任用職員の共済組合負担金率の改定に伴う補正です。

次に、歳入につきまして、6ページになります。

款3県支出金です。保険給付費等交付金の7,714万5,000円は、保険給付費に要する費用に対する交付金です。

款5繰入金です。一般会計繰入金の221万8,000円は、職員給与相当額を一般会計から繰り入れる職員給与費等繰入金です。

款6繰越金です。9,000円は、前年度繰越金を補正財源とするものでございます。

なお、予算書9ページから10ページに給与費明細書を添付しております。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 討論なしと認めます。

これから議案第50号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、議案第50号は原案のとおり可決しました。

—————○—————

第7 議案第51号 令和5年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

○議長（宮内道則君） 日程第7、議案第51号「令和5年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）」を議題とします。

本案について説明を求めます。池田福祉課長。

○福祉課長（池田康浩君） 議案第51号、令和5年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について、御説明いたします。

予算の総額に歳入歳出それぞれ1,734万8,000円を追加し、総額を24億7,601万4,000円とするものでございます。

補正の内容につきまして、予算書をもとに歳出から御説明いたします。

予算書は7ページになります。

款1総務費です。一般管理費の316万9,000円は、給与改定等に伴う職員給与費等の補正及び介護保険制度改正に伴うシステム改修委託料でございます。

款2保険給付費です。介護予防サービス給付費の640万円及び特定入居者介護サービス費の380万円は、実績見込み増に伴います補正でございます。

款4地域支援事業費です。介護予防生活支援サービス事業費の223万3,000円及び8ページにございます任意事業費の174万6,000円も実績見込み増に伴います補正でございます。

次に、歳入につきまして、6ページになります。

款7繰入金です。その他一般会計繰入金の316万9,000円は、職員給与相当額を一般会計から繰り入れる職員給与費等繰入金及びシステム改修委託料分を一般会計から繰り入れる事務費繰入金でございます。

款8繰越金です。1,417万9,000円は、前年度繰越金を補正財源とするものでございます。

なお、予算書9ページから11ページに給与費明細書を添付しております。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 討論なしと認めます。

これから議案第51号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、議案第51号は原案のとおり可決しました。

—————○—————

第8 議案第52号 令和5年度芦北町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）

○議長（宮内道則君） 日程第8、議案第52号「令和5年度芦北町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）」を議題とします。

本案について説明を求めます。平田上下水道課長。

○上下水道課長（平田秀臣君） 議案第52号、令和5年度芦北町農業集落排水事業特

別会計補正予算（第２号）について、御説明いたします。

予算の総額に歳入歳出それぞれ１１２万１，０００円を追加し、総額を２億８８９万３，０００円とするものでございます。

補正の内容につきまして、予算書をもとに歳出から御説明いたします。

予算書は７ページになります。

款１項１農業集落排水事業費です。目１農業集落排水事業総務費の５９万３，０００円は、給与改定等に伴う職員手当等の補正です。

項２目２芦北地区農業集落排水施設管理費の５２万８，０００円は、中継ポンプ取替修繕に係る補正でございます。

次に、歳入につきましては６ページになります。

款５繰入金です。一般会計繰入金の１１２万１，０００円は、一般会計からの繰入金を今回の補正財源とするものでございます。

なお、予算書８ページから１０ページに給与費明細書を添付しております。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 討論なしと認めます。

これから議案第５２号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、議案第５２号は原案のとおり可決しました。

—————○—————

第９ 議案第５３号 令和５年度芦北町生活排水処理事業特別会計補正予算（第１号）

○議長（宮内道則君） 日程第９、議案第５３号「令和５年度芦北町生活排水処理事業特別会計補正予算（第１号）」を議題とします。

本案について説明を求めます。平田上下水道課長。

○上下水道課長（平田秀臣君） 議案第５３号、令和５年度芦北町生活排水処理事業特別会計補正予算（第１号）について、御説明いたします。

予算の総額に歳入歳出それぞれ８３万９，０００円を追加し、総額を６，１８３万

9,000円とするものでございます。

補正の内容につきまして、予算書をもとに歳出から御説明いたします。

予算書は7ページになります。

款1項1生活排水処理事業費です。生活排水処理事業費総務費の83万9,000円は、給与改定等に伴う職員給与費等の補正です。

次に、歳入につきましては6ページになります。

款2繰入金です。一般会計繰入金の83万9,000円は、一般会計からの繰入金を今回の補正財源とするものでございます。

なお、予算書8ページから10ページに給与費明細書を添付しております。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 討論なしと認めます。

これから議案第53号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、議案第53号は原案のとおり可決しました。

—————○—————

第10 議案第54号 令和5年度芦北町有温泉事業特別会計補正予算（第2号）

○議長（宮内道則君） 日程第10、議案第54号「令和5年度芦北町有温泉事業特別会計補正予算（第2号）」を議題とします。

本案について説明を求めます。釜商工観光課長。

○商工観光課長（釜 辰信君） 議案第54号、令和5年度芦北町有温泉事業特別会計補正予算（第2号）について、御説明いたします。

予算の総額に歳入歳出それぞれ35万3,000円を追加し、総額を1億3,792万4,000円とするものでございます。

補正の内容につきまして、予算書をもとに歳出から御説明いたします。

予算書は7ページになります。

款1温泉運営費です。温泉観光センター運営費の35万3,000円は、給与改

定等に伴う職員給与費の補正でございます。

次に、歳入につきましては6ページになります。

款3繰入金です。一般会計繰入金の35万3,000円は、一般会計からの繰入金を今回の補正財源とするものでございます。

なお、予算書8ページから10ページに給与費明細書を添付しております。

以上です。

○議長（宮内道則君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 討論なしと認めます。

これから議案第54号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、議案第54号は原案のとおり可決しました。

—————○—————

第11 議案第55号 芦北町一般職の職員の給与に関する条例及び芦北町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

第12 議案第56号 芦北町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

第13 議案第57号 芦北町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君） 日程第11、議案第55号「芦北町一般職の職員の給与に関する条例及び芦北町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」から日程第13、議案第57号「芦北町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」までを、議会運営委員会の答申に基づき、会議規則第36条の規定により一括議題といたします。

本案について説明を求めます。松本総務課長。

○総務課長（松本俊造君） 議案第55号から議案第57号までは関連する改正となりますので、一括して御説明申し上げます。

議案第 55 号、芦北町一般職の職員の給与に関する条例及び芦北町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定については、熊本県人事委員会勧告に基づき職員の給料及びボーナスの増額改定を行うものです。

第 1 条で一般職の職員の期末手当及び勤勉手当を、それぞれ 0.05 月増額し、別表第 1 において給料表を平均 1.1 %増額改定をするものです。

また、第 2 条で令和 6 年 6 月と 12 月の期末手当及び勤勉手当の支給率を規定しております。

第 3 条及び第 4 条では、特定任期付職員に係る給料月額及び期末手当の増額改定を規定しております。

附則として、この条例は公布の日から施行することし、第 1 条及び第 3 条の適用日について規定をしております。

また、第 2 条及び第 4 条の規定は、令和 6 年 4 月 1 日から施行するものです。

議案第 56 号、芦北町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について及び議案第 57 号、芦北町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定については、国の特別職の職員の給与に関する法律の改正に合わせて、第 1 条で町長、副町長、教育長及び議会議員の期末手当について、0.1 月の増額改定を行うものです。

また、第 2 条では令和 6 年 6 月及び 12 月の期末手当の支給率を規定しております。

附則として、この条例は公布の日から施行することとし、第 1 条の規定は令和 5 年 12 月 1 日から適用し、第 2 条の規定は令和 6 年 4 月 1 日から施行するものです。

なお、提案理由は記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 質疑なしと認めます。

これから日程第 11、議案第 55 号から日程第 13、議案第 57 号までを、順次、討論を行い、採決します。

日程第 11、議案第 55 号、芦北町一般職の職員の給与に関する条例及び芦北町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 討論なしと認めます。

これから議案第５５号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、議案第５５号は原案のとおり可決しました。

日程第１２、議案第５６号、芦北町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について、討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 討論なしと認めます。

これから議案第５６号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、議案第５６号は原案のとおり可決しました。

日程第１３、議案第５７号、芦北町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 討論なしと認めます。

これから議案第５７号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、議案第５７号は原案のとおり可決しました。

—————○—————

第１４ 議案第５８号 芦北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君） 日程第１４、議案第５８号「芦北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。佐竹税務課長。

○税務課長（佐竹貴幸君） 議案第５８号、芦北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、全世代対応方の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律による地方税法等の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

主な内容といたしましては、国民健康保険の加入世帯で世帯に出産予定の被保険者または出産した被保険者がいる場合に、世帯主に賦課する国民健康保険税のうち、単体妊娠の場合は4か月、多胎妊娠、いわゆる双子以上の場合には6か月分の被保険者に係る所得割額及び被保険者均等割額を減額するものです。

附則といたしまして、この条例は令和6年1月1日から施行することとしております。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 討論なしと認めます。

これから議案第58号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、議案第58号は原案のとおり可決しました。

—————○—————

第15 議案第59号 芦北町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君） 日程第15、議案第59号「芦北町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。松本総務課長。

○総務課長（松本俊造君） 議案第59号、芦北町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

同法がマイナンバーの利用範囲の拡大及び情報連携に係る規定の見直しを行ったことから、条例の定義に特定個人番号利用事務及び利用特定個人情報を追加した上

で引用する規定の整理を行っております。

附則として、この条例は同法の一部改正法の施行日から施行するものです。

なお、提案理由は記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 討論なしと認めます。

これから議案第59号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、議案第59号は原案のとおり可決しました。

—————○—————

第16 議案第60号 財産の取得について

○議長（宮内道則君） 日程第16、議案第60号「財産の取得について」を議題とします。

本案について説明を求めます。鎌倉建設課長。

○建設課長（鎌倉博之君） 議案第60号、財産の取得について、御説明申し上げます。

本案は、令和2年7月豪雨に係る災害復旧工事等により、町内で発生する土砂の受入先として設置した萩ノ越残土処理場用地の確保に係る土地の取得を行うものです。

取得内容について、御説明申し上げます。

土地の所在地、熊本県葦北郡芦北町大字海浦字萩ノ越1598番1、地目、畑、地積1万423㎡、契約金額1,052万7,230円、契約の相手方、熊本県葦北郡芦北町大字海浦43番地1、本田浩久です。

本件土地は、萩ノ越残土処理場の設置にあたり、計画段階から確保が必要な隣接する用地であり、今回、地権者との用地交渉がまとまりましたので、取得するものです。

なお、提案理由につきましては、記載のとおりでございます。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。川尻君。

○10番（川尻成美君） 閉会中の調査事項で、佐敷川、湯浦川の災害のあれで処理をするという形ですね、聞いておまして、この土地に持って行かれるというふう
に思うんですけども、だいたいどのくらい入るんですかね、残土、河川の。

○議長（宮内道則君） 鎌倉建設課長。

○建設課長（鎌倉博之君） お答えいたします。

萩ノ越残土処理場には、当初から入る予定でございます、県の農地整備課関係の
土量が約9万m³、それと芦北町内で発生する土砂が約10万2,000m³、合計で
約19万m³を入れる見込みでございます。

○議長（宮内道則君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 討論なしと認めます。

これから議案第60号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定す
ることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、議案第60号は原案のと
おり可決しました。

—————○—————

○議長（宮内道則君） ここで、議案配付のため、しばらくお待ちください。

〔議案 配付〕

○議長（宮内道則君） 配付漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 配付漏れなしと認めます。

—————○—————

第17 同意第2号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

○議長（宮内道則君） 日程第17、同意第2号「教育委員会委員の任命につき同意を
求めることについて」を議題とします。

本案について説明を求めます。竹崎町長。

○町長（竹崎一成君） 芦北町教育委員会委員に次の者を任命したいので、議会の同意
を求めます。

住所、熊本県八代市植柳上町 6 5 0 9 番地、氏名、藪隆司。昭和 3 6 年 2 月 1 1 日生まれ。

この件につきましては、令和 6 年 2 月 1 0 日に任期満了となるものでございまして、教育委員の任命につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 4 条第 2 項の規定により議会の同意を得る必要がありますので、本案を提出するものであります。

藪隆司氏は、昭和 5 9 年 4 月から令和 3 年 3 月まで、3 7 年間、町内外の小中学校において教鞭をとられ、その間、田浦小学校長、佐敷小学校長、水俣第一中学校長を歴任されました。教育に関する高い識見と豊富な経験を有しておられることから、教育委員会委員に最適と認め、ここに議会の同意を求めるものでございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（宮内道則君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 討論なしと認めます。

これから同意第 2 号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり同意することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、同意第 2 号は原案のとおり同意することに決定しました。

—————○—————

○議長（宮内道則君） ここで、議案配付のため、しばらくお待ちください。

〔議案 配付〕

○議長（宮内道則君） 配付漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 配付漏れなしと認めます。

—————○—————

第 1 8 諮問第 1 号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

第 1 9 諮問第 2 号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

○議長（宮内道則君） 日程第 1 8、諮問第 1 号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」から日程第 1 9、諮問第 2 号「人権擁護委員の推薦につき意見

を求めることについて」までを、議会運営委員会の答申に基づき、会議規則第36条の規定により一括議題とします。

本案について説明を求めます。竹崎町長。

○町長（竹崎一成君） 人権擁護委員に次の者を推薦したいので、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求めるものでございます。

住所、熊本県葦北郡芦北町大字田浦2043番地4、氏名、溝下博行、昭和30年10月14日生まれ。

この件につきましては、令和6年3月31日に任期満了となるものでございまして、法務大臣に候補者として推薦するために、当議会に提案させていただくものがあります。

溝下博行氏でございますが、平成30年4月から人権擁護委員として法務大臣から委嘱され、現在2期目でございます。

委員として、人権相談や啓発活動に積極的に取り組まれており、引き続き御活躍をいただくため、ここに議会の意見を求めるものでございます。

続きまして、諮問第2号について、御説明申し上げます。

住所、熊本県葦北郡芦北町大字女島1653番地2、氏名、小崎富美、昭和37年11月16日生まれ。

提案理由は、前号と同じであります。

小崎富美氏でございますが、昭和61年4月から令和5年3月まで、37年間、町内外の小学校において養護教諭として活躍され、児童への思いやりのある対応は保護者の評価を得るだけでなく、地域からも信頼を受けておられるところです。

その豊富な経験と温厚な人柄は、人権擁護委員に最適な人材と認め、ここに議会の意見を求めるものでございます。

以上2名でございます。よろしくお願い申し上げます。

○議長（宮内道則君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 質疑なしと認めます。

これから日程第18、諮問第1号から日程第19、諮問第2号まで、順次、討論を行い、採決します。

日程第18、諮問第1号、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて、討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 討論なしと認めます。

これから諮問第1号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり適任者と認めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、諮問第1号は原案のとおり適任者と認めることに決定しました。

日程第19、諮問第2号、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて、討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 討論なしと認めます。

これから諮問第2号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり適任者と認めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、諮問第2号は原案のとおり適任者と認めることに決定しました。

-----○-----

第20 熊本県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について

○議長（宮内道則君） 日程第20「熊本県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙」を行います。

お諮りします。選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定によって、指名推薦にしたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、選挙の方法は指名推薦によることに決定しました。

お諮りします。指名の方法については、議長が指名することにしたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、議長が指名することに決定しました。

熊本県後期高齢者医療広域連合議会議員に、林田君を指名します。

お諮りします。ただ今指名いたしました林田君を熊本県後期高齢者医療広域連合議会議員の当選人に定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、林田君が当選人と決定しました。

ただ今当選されました林田君が議場におられますので、会議規則第32条第2項の規定により告知します。

林田君。一言、承諾の御挨拶をお願いします。

○4番（林田燿宏君） ただ今指名いただきました林田でございます。

この後期高齢者のこの議員というのは、竹崎町長が現在議員でおられまして、その後ということで、大変重く感じております。そしてまた、この議員の皆様を見ましたら、首長さん、議長さんが多い中でございますので、しかしながら、指名された以上は、私もあと数年したら後期高齢者に入ってまいりますので、しっかり任務を果たしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（宮内道則君） 以上、これをもちまして、熊本県後期高齢者医療広域連合議会選挙を終わります。

—————○—————

○議長（宮内道則君） 以上で、本日の日程は全て終了しました。

本日はこれで散会します。

御苦勞様でした。

—————○—————

散会 午前11時00分

令和5年第5回芦北町議会定例会議事日程（第2号）

令和5年12月14日

午前10時 開 議
於 議 場

1 議事日程

第1 一般質問

第2 議員派遣の件

（一括議題＝日程第3から日程第6まで）

第3 総務厚生常任委員会の閉会中の継続調査の申出

第4 建設経済文教常任委員会の閉会中の継続調査の申出

第5 議会広報委員会の閉会中の継続調査の申出

第6 議会運営委員会の閉会中の継続調査の申出

（閉 会）

2 出席議員（10人）

2番 楠 原 清 照 君

3番 長 口 隆 君

4番 林 田 燿 宏 君

5番 坂 本 登 君

6番 寺 本 順 一 君

8番 草 野 安 道 君

9番 宮 尾 秀 行 君

10番 川 尻 成 美 君

13番 元 山 秀 志 君

14番 宮 内 道 則 君

3 欠席議員（4人）

1番 百 田 翔 吾 君

7番 白 坂 康 浩 君

11番 寺 本 修 一 君

12番 岡 部 恵美子 君

4 説明のため出席した者の職氏名（16人）

町 長 竹 崎 一 成 君 副 町 長 藤 崎 正 司 君

教 育 長 岩 田 繁 義 君 総 務 課 長 松 本 俊 造 君

企画財政課長 白 坂 達 也 君 税 務 課 長 佐 竹 貴 幸 君

住民生活課長 長 崎 十三男 君 福 祉 課 長 池 田 康 浩 君

健康増進課長 田 中 公 広 君 農 林 水 産 課 長 梶 浩 之 君

商工観光課長 釜 辰 信 君 建 設 課 長 鎌 倉 博 之 君

上下水道課長 平 田 秀 臣 君 教 育 課 長 田 代 忍 君

スポーツ・文化振興課長 岡 田 謙 治 君 コミュニティセンター課長 上 野 孝 司 君

5 職務のため出席した事務局職員の職氏名（2人）

議会事務局長 窪 田 和 彦 君 次 長(主幹) 鎌 田 富士夫 君

議員派遣の件

次のとおり議員を派遣する。

1 議員研修

- (1) 目 的 少子化対策等に関する先進地の事例等について調査し本町の発展に資するため
- (2) 派遣場所 岡山県奈義町 ほか
- (3) 期 間 令和5年12月19日(火)～21日(木)
- (4) 派遣議員 議員全員

令和5年12月14日

芦北町議会議長 宮 内 道 則

令和5年第5回定例会一般質問通告表

質問 順番	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	楠原清照	1 芦北町水道事業の維持管理等について	① 上水道事業の施設概要及び経営の状況はどうなっているのか。 ② 水源の管理の現状はどうなっているのか。 ③ 水道管の管理の現状はどうなっているのか。 ④ 今後の施設の更新計画や有収率の向上等についてはどう考えているのか。	町長及び担当課長
		2 多目的研修センターの現状等について	① 本施設の概要及びその位置づけはどうなっているのか。 ② 本施設の利活用の現状はどうなっているのか。 ③ 本施設の料金体系を見直す考えはないか。 ④ 本施設を改修する考えはないか。 ⑤ 本施設の今後の方向性をどのように考えているのか。	町長及び担当課長
2	長口 隆	1 中山間地域農業林業担い手育成について	① 令和4年9月議会定例会において一般質問した、自伐型林業の推進・支援について、「本町の実情に沿った事業化の可能性や方向性について協議、検討を行っているところ。」との答弁であったが、その後どのような取り組みや方向性を検討されたのか。 ② 自伐型林業者を目指す町外からの転入者を地域おこし協力隊として、町内自伐型林業者等の下で、技術習得	町長及び担当課長

			を行い育成支援する考えはないか。 ③ 農業者の高齢化による担い手確保対策はどうするのか。	
		2 佐敷城跡周辺の環境整備について	① 旧社会教育センターの活用については、どのような方針を立てているのか。 ② 国史跡である佐敷城跡の閉鎖されている本町側からの登城ルート of 整備計画はどうなっているか。	町長、教育長及び担当課長

開会 午前１０時００分

—————○—————

○議長（宮内道則君） 皆さん、おはようございます。

直ちに、本日の会議を開きます。

岡部君、寺本修一君、白坂君、百田君から欠席届が出ております。

本日の日程は、議席に配付しております議事日程のとおりであります。

—————○—————

第１ 一般質問

○議長（宮内道則君） 日程第１、一般質問を行います。

質問通告者は２名です。通告書は、お手元に配付しております。質問時間は、従来どおり補助質問を含めて３０分以内に制限します。それから、一般質問は通告制であります。質問に関連して求める関連質問は許可しません。質問に当たっては、通告内容に基づいた質問をされるよう求めます。なお、執行部の答弁も明快かつ簡潔に願います。

それでは、順番に発言を許します。

はじめに、楠原君。

○２番（楠原清照君） 皆さん、おはようございます。楠原でございます。

芦北町議会会議規則第６０条第１項の規定に基づき、議長の許可の下、質問をさせていただきます。

さて、今年も最後の議会となりましたが、早いもので今月末は私が町議をさせていただきまして丸３年になるわけでございます。この間、新米議員として突っ走ってまいりましたが、議長をはじめ、議員の皆様や竹崎町長以下、執行部の皆様、そして町民の皆様の御支援と御理解の下、御迷惑を多々おかけしながらも、議員活動を継続してこられました。ここに一つの区切りといたしまして、この場をお借りしまして衷心より感謝申し上げたいと思います。

そのようなことで、私の今年の一般質問を振り返ってみますと、まず３月議会ではＴＳＭＣの菊陽町進出に伴う本町の地域振興問題、民生委員・児童委員問題、それに老朽化等の空き家対策の３項目、６月議会では海水浴場や関連観光施設の利活用の問題、徴税等のコンビニ収納やキャッシュレス決済問題、芦北町スポーツ協会及び各種スポーツ大会の現状等についての３項目、９月議会では少子化対策、子ども施策問題、国民健康保険税の資産割課税の見直し問題、シカ・イノシシ等の獣害対策のさらなる強化推進についての３項目、以上９項目の質問をさせていただいております。

ちなみに、初めて一般質問をさせていただいた令和３年３月議会から、前回９月

議会まで都合 11 回に及ぶ定例会の私の一般質問項目数は 35 項目でございました。ここに御答弁していただいた担当課を労う意味も込めまして、答弁回数ランキングを発表させていただきたいと思います。1 位、総務課 7 回、2 位、農林水産課 6 回、3 位、建設課と住民生活課、同数の 5 回、5 位、福祉課と企画財政課、同数の 3 回、7 位、健康増進課、商工観光課、教育課、同数 2 回、10 位、税務課、上下水道課、コミュニティセンター課、スポーツ・文化振興課、各 1 回となっております、私の念願でありました全課に対する質問をこなすことができました。1 位だった総務課長、大変おめでとうございませう。総務課の面目を保って良かったなと思っております。トロフィーでも差し上げたいところですが、気持ちだけでも受け取っていただきたいと思います。ただし、今回の今日の質問を加えますと、農林水産課も 7 回となり、同率トップということも申し添えております。ここに、改めて執行部の御対応に対し、お礼を申し上げたいと思います。そのようなことで、今回は新たに 2 つの質問をさせていただき、今年を締めくくりたいと思います。

それでは、一般質問の本題に入ります。私は、昨年の 9 月議会におきまして、農業集落排水事業の維持管理等について一般質問をさせていただきましたが、そこでは昨今の下水道インフラの現状等を鑑みて、現在の体制で果たして持続可能な安全で安心な下水道経営を維持していけるのか、やはり体制の変革と強力な国の支援が必要なのではないかという観点から質問をさせていただいております。

今回取り上げさせていただきました上水道も、基本的には同様の観点からの質問となりますが、何よりも現在の本町上水道インフラの正しい認識と課題を、担当課だけではなく、広く住民の皆さんにも知らしめて共有することが、まずもって極めて重要なことではないかと考えるものです。そして、恐らく主要な課題というものは、何も本町だけの特別な問題ではないのでありまして、まさに全国共通の課題を多く含んでいるわけでありませう。そうであれば、本来は国が率先してその課題解決に向け強力な支援策を構築すべきなのですが、これまでの国の施策というものがあるにしても後手後手に回っている感を覚えますし、多少ピント外れな対策もあって、これで本当に大丈夫かと、その実効性に疑問を抱くことも多々あるわけでありませう。

私は、今回の質問において、ただいま現在は全くもって健全な経営を維持している上水道事業ではありますが、一方ではいろいろな問題が潜んでいるわけでありませう。これは上水道事業に限らず、どんな事業にも必ずあるわけございませうが、とにかく今後どうすれば安定し、持続可能な上水道インフラとすることができるのか、そういうことを要は健全経営を維持し、余力のある今においてこそ、ある程度、長期展望に立って考え、着実に手を打っていかねばならないのではないかと考えるも

のです。

上下水道課では、平成31年3月に2019年度から2028年度の10年を期間とした芦北町水道事業経営戦略が策定されておるようでございます。これの冒頭では、老朽資産の大量更新や、人口減少に伴う料金収入の減少により、経営環境が厳しくなっていると述べられております。

一方では、水道水の安定供給は、重要な住民サービスであり、将来にわたって安定的に継続することが必要とも述べられております。公共インフラは円滑に日々運営されて当たり前の世界ではございますが、しかしそれは、それに携わる上下水道課職員と管工事組合や町水道指定工事店あるいはその他の関連業者の皆さんによる365日昼夜分かたずの体制での真面目な業務の遂行による結果なのであります。当たり前のそのような体制があって初めて当たり前でいられること、また一方で現場の努力だけではどうにもならないこともあるわけでありまして、そういうことについてはみんなで理解し問題点を共有する、そのような基盤と申しますか、前提のもとに対策を講じ、最終的には政治で解決することが、今後の水道行政の円滑な遂行に必要不可欠であろうと考えるものです。

そのようなことで、通告書1、芦北町水道事業の維持管理等について、質問いたします。①上水道事業の施設概要及び経営の状況はどうなっているのか。②水源の管理の現状はどうなっているのか。③水道管の管理の現状はどうなっているのか。④今後の施設の更新計画や有収率の向上等についてはどう考えているのか。この4点について、質問をさせていただきます。

次の質問に移ります。私は、基本的に佐敷の人間でありまして、地元愛も強うございますので、それなりに地元には相当な配慮もいたしますが、しかし当然、議員として町長と同じく、町全体を目配り、気配り、心配りの気持ちで、分け隔てなく対応するという気持ちも持ち合わせているわけでありまして。先般、湯浦の一町民の方から、たまたま相談がありました。それは簡単に言いますと、多目的研修センターの料金体系を改善し、もっと使い勝手のいい施設にしてほしいというものでした。それで、主管課はどこだろうと尋ねてみたら、農林水産課だったわけです。そして、いろいろ協議しながら勉強しているうちに、この多目的研修センターは、当然のことですが、隣の福祉センター同様、湯浦の中核施設、また拠点施設であるという明確な事実を再認識したわけです。つまり、佐敷のしろやまスカイドーム、地域間交流センター、コミュニティセンター、田浦の活性化センターという感じです。ところが、イメージ的には建物が古いこともあいまって、やや地味な雰囲気が漂っているわけでありまして。

相談者様は、多くを語りませんでした。恐らく言外に多目的研修センターは昔

からある湯浦の重要な拠点施設だが、運用が最低限の維持管理にとどまり新鮮味がない、せつかくの施設なのでもっと有効に利活用できるよう、さまざまな創意工夫を凝らし、改善し、地域活性化に役立て、湯浦を元気にする拠点施設にしてもらいたいという強い地域愛による願望から出た相談ではなかったかと感じたわけであります。湯浦を何とかしたい、湯町を活性化したいという思いが相談の背景にあるのではないかと、これは私の政治的勘ですが、ぴんときたわけであります。

多目的研修センターは、芦北町多目的研修集会施設及び農産物加工施設条例に基づき、農林水産課が所管し運営している施設であります。平成28年3月に策定されました芦北町公共施設等総合管理計画を見ますと、産業系施設に分類されておりますので、やや特殊な位置づけとされておりますが、利用実態は地元一般にも広く寄与されておるところでございます。昔も今も、町の自主財源は限られておるわけで、当時、国のさまざまな補助事業をやや強引にでも引っ張ってきて、町民のために造ることが当然のように行われていたわけでありますが、その当時はよくても時代の変化というものにやや対応が難しくなってきたのではないかと感じるわけです。やはり何らかのオペレーション等の改善等が必要な時期となったのではないかと感じております。

そこで、今回、通告書2、多目的研修センターの現状等について、質問いたします。①本施設の概要及びその位置づけはどうなっているのか。②本施設の利活用の現状はどうなっているのか。③本施設の料金体系を見直す考えはないか。④本施設を改修する考えはないか。⑤本施設の今後の方向性をどのように考えているのか。この5点について、お尋ねしたいと思います。

以上、通告書1から2までの質問に対し、御答弁をお願いいたします。

これで、壇上の質問を終わります。再質問は、質問席から行います。

○議長（宮内道則君） 楠原君の1回目の質問が終わりました。答弁を求めます。竹崎町長。

○町長（竹崎一成君） 楠原議員の御質問にお答えいたします。

先ほどは、本議会始まって以来の執行部答弁に対するランク発表がございまして、興味深く拝聴させていただきました。町長答弁は枠外であったようでございました。

さて、本町の水道事業についてのお尋ねでございます。芦北町水道事業経営戦略に基づく計画的な事業実施について、これを誠意をもってこれを実施することによりまして、御案内のとおり、黒字経営を維持しておるところでございます。これには、先年、料金の値上げを町民の方にお願ひし、それこそ将来のこの施設の管理であるとか、あるいは更新であるとか、そういうところに使わせていただくということでありまして、現在、順調に進んでおるところでございます。

しかしながら、今後、給水人口の減少は明らかでありまして、それとともに料金収入の減少も見込まれております。加えまして、老朽化施設の更新費用の増大など、経営環境が厳しくなることが想定されますので、これまで以上に計画的な施設整備や適正な維持管理を行うことによって、将来にわたり安定した経営を維持してまいりたいと思っております。

なお、残余の質問につきましては、担当課長から答弁をさせます。

○議長（宮内道則君） 平田上下水道課長。

○上下水道課長（平田秀臣君） 質問の主題１の①施設概要について、お答えします。

上水道の給水区域は、計石地区、芦北地区、湯浦地区、田浦地区、海浦地区、女島地区、滝の上野添地区で、９か所の配水池を有し、水道管の総延長は１１１．４kmです。令和５年３月末の給水区域における給水戸数は４，８３４戸、給水人口は１万７４９人で、普及率は９１％となります。各家庭で使用する年間総水量は１２５万６，９３１ｍ³で、１日当たり３，４４４ｍ³となります。

次に、②から④につきましては、関連いたしますので、併せてお答えします。まず、水源の管理については１２か所の水源の状況を役場本庁舎に設置した集中監視システムで常時監視しており、水源に異常が確認された場合は、職員が即時に対応する体制をとっております。

次に、水道管の管理については、年間を通して漏水調査による緊急修繕を行うとともに、毎年、計画的に老朽水道管の布設替えを行っております。

今後の施設の更新計画につきましては、芦北町水道事業経営戦略に基づき計画的に実施しているところでありますが、耐用年数を超過した水道管が約２４キロありますので、こちらを優先した更新計画を立ててまいります。

有収率の向上につきましては、有収率は配水池から送り出す給水の量に対する家庭などの使用量の割合で、本町は７５％となっています。２５％は漏水等により損失している状況にありますので、年間を通して漏水調査や夜間流量調査等による漏水箇所の早期発見・早期修繕に努め、有収率の向上を図っていきたいと考えております。

○議長（宮内道則君） 梶農林水産課長。

○農林水産課長（梶 浩之君） 質問の主題２の①について、お答えいたします。

本施設は、農業技術の普及や生活文化の向上を図るためのグループ活動、研修会等を行う本町農業振興の拠点施設として、昭和５８年に設置しております。施設は、大・中・小３つの研修室と、農産物加工調理室を備えており、地域住民の方に広く活用していただく集会施設として位置づけております。また、芦北町地域防災計画においては、指定避難所となっております。

次に、②について、お答えします。令和４年度の利用状況につきましては、ＪＡ湯浦女性部、猟友会などの農業関係団体、民生委員・児童委員協議会などの福祉関係団体、湯浦活性化協議会などの地域グループ、合計１８団体、２，７７０人の方が利用されております。また、避難所としては、延べ４日間の開設で、４８世帯、８１名の方が利用されました。

次に、③について、お答えいたします。現在、使用料の時間区分につきましては、日中は午前・午後の半日ごと及び１日としており、午後５時から午後１０時までの夜間料金につきましては、１時間ごとに規定しております。また、冷暖房の使用については、１時間ごとに定めております。これは建設当時の料金体系でありますので、利用実態に合わせて今後見直しを検討いたします。

次に、④について、お答えします。最近の改修等の状況を申し上げますと、定期点検に伴う修繕等に加えまして、照明器具のＬＥＤへの更新、トイレの洋式化、ウォシュレットの設置等を行っております。施設の安全性確保に必要な基本的な営繕とともに、利用者の快適性に配慮した改修も随時行っております。今後は、長寿命化に向けた検討も必要であると考えております。

次に、⑤について、お答えいたします。現在の集会所や避難所としての用途を維持していきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○２番（楠原清照君） 御答弁ありがとうございました。

まず、通告書１について、再質問をいたします。上下水道課長にお尋ねいたします。水源の取水量はどれくらいですか。

○議長（宮内道則君） 平田上下水道課長。

○上下水道課長（平田秀臣君） 計画取水量は、１日当たり７，０００ｍ³となっております。現在、１日約４，５００ｍ³を取水しています。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○２番（楠原清照君） 次にですね、水源の水資源量は需要に対し十分な量があるとお考えですか。

○議長（宮内道則君） 平田上下水道課長。

○上下水道課長（平田秀臣君） 十分に対応できています。安定した地下水が確保できていると考えております。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○２番（楠原清照君） 水源は大丈夫ということですね。

次に、配水池の貯水容量はどれくらいありますか。

○議長（宮内道則君） 平田上下水道課長。

○上下水道課長（平田秀臣君） 本町の配水池は9か所ありまして、容量は4,300^m³となります。主な配水池の貯水容量は、芦北地区の城山配水池が1,840^m³、米田配水池が1,060^m³、田浦地区の宮田配水池が576^m³となります。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○2番（楠原清照君） それではですね、万が一ですけれども、停電した場合ですね、一般家庭はどれくらいの時間まで給水が受けられますか。分かったら、お答えください。

○議長（宮内道則君） 平田上下水道課長。

○上下水道課長（平田秀臣君） お答えします。

日常の使用量を配水池の容量で割りますと、芦北地区は約12時間、湯浦地区が約1日です。田浦地区が10時間となります。ただし、停電した場合は長く確保できるように対処してまいります。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○2番（楠原清照君） 次にですね、水道水の水質検査はどのように行っているか、お答えください。

○議長（宮内道則君） 平田上下水道課長。

○上下水道課長（平田秀臣君） 毎月、水道法の基準に適合しているか確認しております。また、毎日9か所の管末検査を実施しております。色、濁り、残留塩素濃度を確認しております。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○2番（楠原清照君） 水道管の中でですね、最も関係が大きい水道管はどこにありますか。また、その直結延長を教えてください。

○議長（宮内道則君） 平田上下水道課長。

○上下水道課長（平田秀臣君） お答えします。

芦北地区でございまして、城山配水池から城山入口まで、鋼管300mmを850m布設しております。なお、城山入口から役場まで、鋼管250mmが延長約2,000m、役場近くから湯浦ポンプ場まで鋼管200mmが延長約3,700mとなっております。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○2番（楠原清照君） 次にですね、水道管の漏水件数等の状況はどうなっていますか。また、その対策はどうしているのか、教えてください。

○議長（宮内道則君） 平田上下水道課長。

○上下水道課長（平田秀臣君） 毎年、50件程度の漏水があります。休日問わず、現

場を確認しまして、早急な対応に努めております。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○2番（楠原清照君） 水道管の更新ですけれども、この状況等につきまして、もう少し詳しく教えてください。

○議長（宮内道則君） 平田上下水道課長。

○上下水道課長（平田秀臣君） 耐用年数40年以上を経過している水道管を優先して行っております。経営戦略に基づき、令和元年から令和4年まで、3,138mを更新しております。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○2番（楠原清照君） 今後の水道管の布設替えを中心とした施設の更新費用に係る財源等についてはどのように考えていますか。

○議長（宮内道則君） 平田上下水道課長。

○上下水道課長（平田秀臣君） お答えします。

水道事業経営戦略に基づき、毎年度6,000万円程度の計画により更新し、健全な運営に努めております。今後、給水人口が減少していく将来を見込みまして、施設更新の際には適正な規模縮小を行うことで、更新コストの縮減を図ってまいります。また、大規模工事については、国の補助事業を活用したいと考えております。安定した水道の供給が最も重要な経営方針であり、将来的な施設更新を適宜見直すことが必要であります。それと同時に、財源の確保を踏まえまして、使用料の見直しも検討する必要があります。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○2番（楠原清照君） 御答弁ありがとうございました。

いろいろ細々聞きましてですね、申し訳なかったと思います。

質問1をまとめてみたいと思います。私は、水道水のコストを調べてみました。決算書に記載してあるわけでございますけれども、令和4年度でいいますとですね、給水原価で1m³当たり163.72円、供給単価で177.98円と記されております。これは消費税込み単価でございます。そして、この供給単価、給水単価の差額、14.26円が利益となっており、利益率は8%でございます。

また、1m³当たりの供給単価177.98円というものを、もっと具体的に表してみますと、500mlペットボトルに水道水を入れた場合、その価格は0.17798円ということになります。これでもちっとピンときませんので、1円でどれくらいの量の水道水が買えるのか計算してみましたら、5.6lとなりました。10円あれば56l買えるわけです。1lのペットボトル56本分です。これなら小学生でも理解できると思います。役場玄関の右側に飲料の自動販売機がありますが、あそ

こにはミネラルウォーターが売ってありまして、私もたまに買っておりますけれども、500mlで130円です。水道水との価格差は何と730倍にも達します。

また、家庭の標準的なお風呂の浴槽に満杯に貯めた量が約400ℓですから、これで約71円ということになります。我が町の水道水がどれだけ安いかということを知りたいわけです。

ある夏の暑い日に、我が家で晩飯を食べ終えた後ですね、ペットボトルのキンキンに冷えたミネラルウォーターをガラスのコップに移し、一気に飲み干したわけですね。そして母にですね、「やっぱこのミネラルウォーターはうまかな。」と申しましたら、「そら水道の水」とそっけなく言われました。たまたまミネラルウォーターの空きペットボトルにですね、水道水を入れて冷やしていたわけですね。我が町の水道水は地下水ですから、もともときれいで、塩素消毒をしなくても飲めると水道課長は申しておりました。本当にですね、企業努力の賜物だと思うわけです。

しかし一方では、答弁でありましたように、水道管延長が約100km、うち現在耐用年数の40年を超えた水道管は約24kmという現状において、この24kmの布設替えを毎年約1km実施しているということでした。健全経営を保ちながら、布設替えを行うのは、これが精一杯というわけでございます。ということは、今現在40年という耐用年数を過ぎた水道管だけに絞ってみても、全部の布設替えが完了するのは24年後の2047年ということになるわけです。つまり、最後の水道管は布設後64年目にして更新されるということです。これは厳然たる事実でございますが、やはりちょっと無理があるのではないかなと思うわけです。このような状態が続けば、恐らく漏水が多発して、有収率がぐんと下がることは避けられないのではないかと懸念するわけであります。

ところが、このことは分かっているながらも、今の制度の範囲内でどれだけ担当課長や水道課担当職員が一生懸命やっても、如何ともしがたいことなのであります。つまり現在の公営企業会計の体制では限界があるということです。望むべくは、早いタイミングで前倒ししてでも更新工事を実施し、10年程度で完了させねばならないのではないかと思います。現場は次から次へ耐用年数を迎える水道管が出てきますので、もっと厳しい状況にあると思われます。企業会計と申しますが、民間企業ではないのであります。独立採算のみを追い求めると、本課題に目をつぶって先送りされ続けるのではと危惧するものです。壇上でも申し上げましたが、この問題こそ我が町だけではなく、全国的に共通した大きな課題なのであると思います。

町長におかれましてはですね、本課題解決のため、国に強力な支援を求めるなど、その政治力を発揮していただきたいと切に願うものです。町長の御所見をお願いいたします。

○議長（宮内道則君） 竹崎町長。

○町長（竹崎一成君） 御発言のとおりでありまして、全国的な課題です。テレビ、新聞等でも皆さん方、見聞きなさったことがあると思いますが、爆発的に漏水をするところが、特に都市部で見れるわけでありまして、かなり深刻な状況下にあるわけではありますが、我が町においては大規模な漏水こそ発生しておりませんが、年間50か所程度が発生しております。このことにつきましては、早期発見・早期対応のほうが、修理コスト、更新コストを下げることに繋がりますので、特にこれには現行制度化、そしてまた財政状況下においてはですね、そういうことに職員もですね、さらなる努力をしてもらうということに心がけてまいりたいと思います。

それと、有収率が非常に低うございますので、ここを早くですね、通常レベルといたしますか、平均的なレベルまで上げるように、もうすでに指示はしてございますけれども、限られた人員、限られた予算の中で、精一杯の努力はしております。

なお、これはまた先々のことになるかも知れませんが、その財源を賄うために水道料金、これにつきましては今日明日というわけではございませんが、これにも触れなければいけないときが来るとは思いますけれども、それまでにしっかりとできる努力はしていくという姿勢で臨んでいきたいと思っております。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○2番（楠原清照君） 町長、ありがとうございます。

引き続きましてですね、通告書2について、再質問をいたします。

農林水産課長にお尋ねいたします。利用状況については、コロナ前、コロナ中、コロナ後、どのような状況になっていますか。少し詳しく教えてください。

○議長（宮内道則君） 梶農林水産課長。

○農林水産課長（梶 浩之君） 利用状況につきまして、避難所を除いた状況を申し上げます。コロナ前の使用者数は5,000人台で推移をしております。令和元年度が5,294名でございました。その後、令和2年度が861人、令和3年度が2,493人、令和4年度は先ほど申し上げましたとおり、2,770人となっております。これはやはり豪雨災害及びコロナの影響であるというふうに考えております。令和5年度は、11月末現在で1,967人と回復傾向にあると考えております。

以上です。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○2番（楠原清照君） 答弁にありました使用料金の見直しにつきましてですね、例えばどのような見直しが考えられるか、お尋ねしたいと思います。

○議長（宮内道則君） 梶農林水産課長。

○農林水産課長（梶 浩之君） 料金の見直しについてのお尋ねでございます。先ほど申し上げました時間区分、半日ごとというような区分にしておりますけれども、これを1時間ごとに見直したらどうかというふうなことで、今考えているところでございます。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○2番（楠原清照君） 次にですね、使用料減免の運用はどのようにしておるか、お答えください。

○議長（宮内道則君） 梶農林水産課長。

○農林水産課長（梶 浩之君） 使用料の減免につきましては、条例の施行規則で地域農業の振興、生活改善等を目的とした研修会等に利用する場合というふうに規定しております。従いまして、先ほど申し上げました団体、グループ等につきましては、それらの方の集会等につきましては、減免としておるところでございます。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○2番（楠原清照君） 利用者がですね、使用する場合のですね。申請手続き、これを簡素化する考えはありませんか。

○議長（宮内道則君） 梶農林水産課長。

○農林水産課長（梶 浩之君） 利用許可の手続きにつきましては、現在、利用許可申請書を事前に提出していただく取り扱いとしております。

簡素化についての御質問でございますけれども、DXの推進による町の行政手続き全体の見直しの流れもございますので、この方向性に沿いましてですね、利用者の利便性向上について検討してまいりたいというふうに考えております。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○2番（楠原清照君） 次にですね、調理実習室、農産物加工施設は現在どのような状況になっておりますか。

○議長（宮内道則君） 梶農林水産課長。

○農林水産課長（梶 浩之君） 建築時に設置をしておりました真空包装機でありますとか圧力窯等は、老朽化によりまして、現在撤去しております。現在は、シンクやコンロを備えた調理施設、味噌類の加工施設として利用をいただいているところでございます。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○2番（楠原清照君） 施設の耐用年数ですね、これは何年でしょうか。また、耐震化はどうなっていますか。

○議長（宮内道則君） 梶農林水産課長。

○農林水産課長（梶 浩之君） 施設の耐用年数は50年でございます。耐震基準改正

後の昭和５８年に建築されておりますので、耐震性は満たしているところでございます。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○２番（楠原清照君） 施設の改修につきましてですね、国や県の助成等はありませんか、お答えください。

○議長（宮内道則君） 梶農林水産課長。

○農林水産課長（梶 浩之君） 改修等のお尋ねですけれども、大規模改修についてのお尋ねかと思います。これにつきましては、どのような目的で、どのような事業メニューを活用するかにより改修等の補助金等を検討していくことになるかと思います。

以上です。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○２番（楠原清照君） 例えばですね、新たな機能の追加を検討するなど、施設のさらなる利用促進を図る考えはありませんか。

○議長（宮内道則君） 梶農林水産課長。

○農林水産課長（梶 浩之君） 施設につきましてはですね、やはり地元の方に愛されて使っていただくことが一番だというふうに考えております。施設の安全性、必要性、優先性等を十分に検討し、地域住民のニーズを踏まえながら、施設の有効活用ができるように考えてまいりたいというふうに思っております。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○２番（楠原清照君） 御答弁ありがとうございました。

それでは、質問２をまとめてみたいと思います。壇上でも申し上げました芦北町公共施設等総合管理計画とはですね、国において平成２５年１１月に策定されたインフラ長寿命化基本計画を受け策定されたものでございます。本管理計画の冒頭では、将来の財政状況は厳しさを増す一方であり、財政基盤の充実が喫緊の課題となっているとし、安定した健全財政と質の高い行政サービスを実現するため、公共施設の見直しと適正配置を検討していくこととしたとあります。簡単に言いますと、残すべきはしっかり残し、そのさらなる利活用を促し、整理すべきは整理して、スリム化しなければならないということだと理解しているところです。

そして、建築系公共施設に対する基本方針の一つとして、新規整備は原則として行わないとうたっております。つまり、箱物は造らないということです。また、施設を更新する場合は、複合施設を検討するとも記述されております。

何を言いたいのかと申しますと、多目的研修センターは、湯浦地区の拠点施設でありますから、今後も存続させることを前提に、最低限の維持管理的運用から脱皮

して、その利活用を積極的に図っていただきたいと申し上げたいのであります。

例えば、湯浦温泉の歴史を記憶する場にするとか、音楽・文化を振興するため音響を考慮した部屋を設けるとか、福祉センターと本施設を統合し、窓口を一本化するとともに、新たな複合施設として運用するとか、いろいろあろうかと思います。本施設はすでに築41年が経過しております。このことについても、本管理計画では建設後40年程度経過すると、点検保守による修繕、小規模改修工事では性能・機能が許容できるレベルを維持できなくなり、大規模改修工事が必要となるとあります。そして、社会的な要求性能レベルは、通常、時間が経つにつれて上昇するため、要求性能レベルの変化を視野に入れた改修工事が望まれるとあるわけです。まさに、多目的研修センターは、そのような時期に来ていると思われます。

今回の質問は、事は一施設の問題にとどまらず、湯浦の地域活性化に係る広い裾野を包含した重要な問題が背景にあるというふうに認識しておるところです。できることなら、執行部におかれましても、このような問題意識を共有し、適切なご対応方をお願いしたいと思うわけでございます。町長の御所見をお願い申し上げます。

○議長（宮内道則君） 竹崎町長。

○町長（竹崎一成君） 湯浦地域の活性化対策につきましては、御指摘の施設のほかにですね、きずなの里であるとか、富弘美術館であるとか、今、工事中であります、以前、特高賃といっておりましたが、その住宅の建設、そしてまた不幸中の幸いといえは語弊があるかも知れませんが、令和2年7月豪雨で被災をいたしました、あの河川改修ですね、より災害に強い河川として、これらを中心にですね、今後は湯浦の活性化をさらに一層進めていきたいと考えているところでありますが、この施設につきましては老朽化、私もたまに行きますけれども、以前は特にJA湯浦が中心になりましてね、あそこで当時の婦人部の方々がいろいろと利活用を図って、非常に活気を呈しておった施設でございます。

ただ今いろんな提案がございましたので、これは私どももしつかりと受け止めて、より良い施設としてですね、存続できるように努めてまいりたいというふうに思っております。

○議長（宮内道則君） 楠原君。

○2番（楠原清照君） ありがとうございます。

今回はですね、この湯浦地区の案件を取り上げさせていただきましたけれども、私は今後、田浦、大岩、吉尾、大野地区など、各地区が抱える課題につきまして、地区ごとに質問させていただこうとも考えているところでありますので、今後のご対応方、よろしくお願いしたいと思います。

最後になりますが、これから質問されます長口議員がですね、佐敷城の周辺環境

整備についての質問をされ、佐敷の人間の私がですね、湯浦の施設について質問するという、今回ちょっと面白い現象が起きております。これはですね、良い意味で申し上げておるわけでございます。実は、私も同様の質問をですね、来年3月議会で今度しようと思い、教育長にもですね、打診をしておったわけですがけれども、ここはですね、長口議員にバトンタッチをいたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

これで、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（宮内道則君） 楠原君の質問が終わりました。

次に、長口君。

○3番（長口 隆君） 議長の許可をいただきましたので、一般質問をいたします。

令和2年7月の豪雨災害から3年目となる令和5年度は、復興元年プラス2と題し、創造的復興に取り組まれ、各種工事が着々と完成・竣工していることは誠に喜ばしく思います。

さて、芦北町は未来につなげる芦北町農林漁業振興基本条例を制定し、基本理念に基づいて本町の基幹産業としての農林漁業振興の方向性を示されております。基本理念については、令和4年9月定例会にて申し上げましたので省略いたしますが、条例の基本理念の遂行により、農林水産業が豪雨災害からの創造的再生・復興・発展を成し遂げることを信じ、質問に入ります。

中山間地域は多面的機能がありまして、水田は集中豪雨の際はダム機能を担い、一挙に流れる濁流を調整する機能があります。また、山林も降雨を吸収し、一挙に流れる雨水を調整し、水資源確保の重要な役割を果たしております。そのミネラルは海に出て、漁業資源を培います。これはあくまで適切に管理された水田等山林が発揮できる最高の機能でありまして、この水田と山林を適切に管理し守ることが、引いては下流域の住民の浸水被害から守る安心・安全につながり、漁業資源の保全にも役立つといわれています。

このようなことを踏まえて、主題1、中山間地域農業林業担い手育成について、①令和4年9月議会定例会において一般質問した自伐型林業の推進支援について、本町の実情に沿った事業化の可能性や方向性について協議・検討を行っているところとの答弁であったが、その後、どのような取組や方向性を検討されたのか。②自伐型林業者を目指す町外からの転入者を地域おこし協力隊として、町内自伐型林業者などのもとで技術習得を行い、育成支援する考えはないか。③農業者の高齢化による担い手確保対策はどうするのか。

次に、佐敷城周辺の環境整備についてであります。令和4年9月の定例会で、通常の維持管理に加えて、佐敷城跡の保存及び景観が向上するよう、適切な環境整

備に取り組むとの答弁でありましたが、今回は本町側からの視点で質問いたします。社会教育センターの機能は、新築されたコミュニティセンターに移行して、近代的な図書館などを備え交通の利便性もあり、多くの利用者に喜ばれ、移転の効果を発揮しておりますが、旧社会教育センターは令和２年豪雨災害後、使用されておらず、未活用の状況であります。本町側には薩摩街道、榎屋、天下泰平国土安穩の大瓦モニュメントなど、歴史を感じることができる拠点があることから、現状を見て質問をいたします。

主題２、佐敷城跡周辺の環境整備について、①旧社会教育センターの活用については、どのような方針を立てているのか。②国史跡である佐敷城跡の閉鎖されている本町側からの登城ルートの整備計画はどうなっているのか。

以上、登壇しての質問を終わります。再質問は、質問席にて行います。

○議長（宮内道則君） 長口君の１回目の質問が終わりました。答弁を求めます。竹崎町長。

○町長（竹崎一成君） 長口議員の質問の主題１について、お答えをいたします。

中山間地域農業林業担い手の育成につきましては、本町においての農林業従事者数は年々減少しております。喫緊の課題であるとともに、全国共通の課題でもあると認識をしております。

林業につきましては、平成３１年度から森林環境譲与税が導入されておまして、森林整備を中心としたさまざまな事業が各市町村で展開されるようになりましたが、本町におきましては、今後この森林環境譲与税、そしてやがて始まります森林環境税の本格課税等、これらによります制度を活用しながら、自伐型林業による担い手育成を促進してまいりたい。そして、森を守り育てながら、森林資源の循環的利用促進をしていきたいというふうに考えておるところであります。

なお、残余の質問につきましては、担当課長から答弁させます。

○議長（宮内道則君） 岩田教育長。

○教育長（岩田繁義君） 長口議員の質問の主題２の①について、お答えいたします。

社会教育センターの活用につきましては、芦北町総合コミュニティセンター建設の計画当時から、全員協議会において説明をしてきたところですが、平成２９年１２月６日及び平成３０年１２月５日の全員協議会において、解体の方向について御説明をしたところです。加えて、令和２年７月豪雨でも被災し、利用も困難な状況であることから、今後、解体等の具体的なスケジュールについて総合計画に位置づけ、取り組んでいきたいと考えているところでございます。

次に、②について、お答えいたします。佐敷本町側からの登城ルートについては、令和２年７月豪雨により被災し、土砂が堆積しておりましたが、今年度より園路の

土砂撤去作業を進めているところでございます。今後、通行の安全が確保されましたら、登城ルートの一つとして御利用いただき、佐敷城跡への利便性や安全性が向上するような適切な維持管理に努めてまいります。

○議長（宮内道則君） 梶農林水産課長。

○農林水産課長（梶 浩之君） 質問の主題 1 の①と②については関連いたしますので、併せてお答えいたします。

自伐型林業の先進地である高知県佐川町と徳島県那賀町を地元自伐林家と一緒に視察を行い、それを踏まえ、取組や方向性を具体的に検討してまいりました。

自伐型林業の推進には、施業地となる森林の集約化と、担い手の確保・育成が必要であり、森林の集約化については、意向調査と現地調査を進めているところでございます。

担い手の確保・育成については、地域おこし協力隊の活用や林業に興味のある地域住民、Uターン人材の発掘を行い、町内自伐林家やNPO法人自伐型林業推進協会、水俣芦北森林組合と連携し、技術習得研修を実施してまいります。

自伐型林業の支援につきましては、作業路開設、間伐等に対し、自伐型林業補助金も検討しており、一定水準の収入が得られ、森林整備に意欲がもてる内容を考えております。当初予算に関連予算を要望しており、令和6年度から事業展開を計画しているところでございます。

次に、③について、お答えいたします。農業従事者の高齢化による労働力不足や担い手確保対策は重要な課題であると認識しております。広域的には平成30年度に、県、1市2町、JA、農業公社で、新たな担い手確保プロジェクトチームを設立しております。芦北地域への就農定着を目標に、就農相談会の実施、就農研修、農地の確保など、幅広く総合的に支援を行い、担い手確保に取り組んでいるところでございます。現在、4名の方が芦北町へ移住し、就農定着を図っておられます。

町単独の支援としましては、新規就農時に必要となる青年等就農計画の認定や、経営開始資金活用のサポート及び農作業受託組織への支援、省力化につながる機械施設の導入助成などを行っております。今後、デジタルによる技術革新がさらに進展し、農業におけるDX化の必要性は高まってまいりますので、事例をしっかりと捉え、さらなる省力化や担い手確保につなげてまいります。

以上です。

○議長（宮内道則君） 長口君。

○3番（長口 隆君） ありがとうございます。

再質問をいたします。自伐型林業の先進地である高知県佐川町と徳島県那賀町を視察され、取組や方向性を具体的に検討されたとの答弁でしたが、再質問をいたし

ます。視察された佐川町と那賀町について、どのような自伐型林業をなされていましたか。また、地域おこし協力隊の活用、管理面積及び林業者の状況を聞かせてください。

○議長（宮内道則君） 梶農林水産課長。

○農林水産課長（梶 浩之君） お答えいたします。

まず、佐川町につきましては、地域おこし協力隊制度を活用されまして、現在まで39名の方が着任、26名が町に定着をされ、そのうち林業従事者として16名が活躍をされております。町に経営管理を委託する希望のありました約700haのうち、現在、約150haを契約し、森林整備を進めておられます。

那賀町につきましては、家族で約110haを経営する林業者の山を視察させていただきました。ここでは、10haの範囲内で2割程度にとどめた間伐を行い、10年サイクルで所有する全ての山林を施業する方法で森林を整備されております。その経営方針と美しく整備された山林は、家族経営のモデルとして参考になったところでございます。

○議長（宮内道則君） 長口君。

○3番（長口 隆君） ありがとうございます。

自伐型林業者が管理する山林には、2.5mの作業管理道が布設されていたと思いますが、砂防や治山効果を十分発揮すると思いませんか。

○議長（宮内道則君） 梶農林水産課長。

○農林水産課長（梶 浩之君） 作業路についての御質問でございます。林業を行う上では、作業路の整備は重要なことであると認識をしているところでございます。

そのような中、視察を行いました両町の作業道は伐採を最小限に抑え、木の根の力も借りながら造られました2mから2.5mの作業道が整備されておりました。また、山の地形を生かした雨水の流れ道が造られておりまして、環境に配慮し、自然に馴染んだ崩れにくい作業道となっておりまして、砂防・治山の面からも適切な施業であると感じたところでございます。

以上です。

○議長（宮内道則君） 長口君。

○3番（長口 隆君） ありがとうございます。

先ほどの答弁では、佐川町では地域おこし協力隊として39名が着任して、26名が佐川町に定着され、そのうち16名が林業従事者として活躍中とのことでした。統計によりますと、芦北町の人工林面積は1万1,888haあります。視察された高知県佐川町の人工林面積は5,027haと記載されております。令和3年9月議会定例会の答弁によりますと、町への経営管理委託希望面積も佐川町より多い

832haであることを考えると、佐川町をしのぐ成果も期待できると思います。中山間地域の山林資源を活用した転入者の定着化政策実行は農林水産課だけではなく、例えばプロジェクトチームを編成するなど、関連する全ての課の連携のもとに力強く推し進めていただきたいと思います。

先進事例の手法をそのまま取り入れ、転入者の生業が成り立つ芦北町独自の政策が実現することを期待します。これが成功しますと、中山間地域の農業、林業の担い手確保につながり、衰退しつつある地域コミュニティの活性化になります。

竹崎町長の見解を求めます。

○議長（宮内道則君） 竹崎町長。

○町長（竹崎一成君） 自伐型林業につきましては、国が推進をしておるところでございます。また、成功事例もいくつかあるわけでありましたが、その逆の事例もたくさんあるわけございましてね、地域おこし協力隊につきましても、総務省は8,000人から1万人に増やすんだということでございますので、私どもも他の課にもですね、地域おこし協力隊、今どんどんどんどん積極的に動員をしておるわけですが、お尋ねあるいは御提案の点につきましても、積極的にこれに取り組んでですね、まずマンパワーを確保して、そして我が町の実情を理解していただいて、そして先々は定着していただくということをですね、期待しながら、さらに取り組んでいきたいと思います。

○議長（宮内道則君） 長口君。

○3番（長口 隆君） どうぞ積極的な対応をよろしくお願いいたします。

それでは、次に旧社会教育センターを解体した後の跡地利用はどのように考えているのか、お尋ねします。

○議長（宮内道則君） 岩田教育長。

○教育長（岩田繁義君） 解体後の跡地利用についての御質問かと思っております。社会教育センターの敷地には、佐敷城跡に関連する遺構が埋蔵されていることが考えられます。まずは発掘調査を実施し、調査の結果をもとに跡地の国史跡への追加指定や、総合的な佐敷城跡の整備計画策定等について文化庁や県、教育委員会、また有識者を交えて検討してまいりたいと考えているところでございます。

○議長（宮内道則君） 長口君。

○3番（長口 隆君） それでは、佐敷城周辺にはイノシシなどの被害が発生していますが、その対策は講じておられますか。

○議長（宮内道則君） 岡田スポーツ・文化振興課長。

○スポーツ・文化振興課長（岡田謙治君） 今年度、斜面の間伐に取り組んでおります。伐採終了後には、防獣フェンスやネットを順次配置し、国史跡内への害獣の移動・

流入を制限する予定でございます。

以上です。

○議長（宮内道則君） 長口君。

○3番（長口 隆君） ただ今の答弁によりますと、旧社会教育センターを含む佐敷城跡周辺の環境整備については、具体的な取組が計画されているようでありますが、周辺住民の皆さんや観光で訪れた方々が快適に散歩や散策などができるよう、充実した整備をお願いいたしまして、私の質問を終わります。

○議長（宮内道則君） 長口君の質問が終わりました。

以上で、一般質問を終わります。

—————○—————

第2 議員派遣の件

○議長（宮内道則君） 日程第2、議員派遣の件を議題とします。

お諮りします。議員派遣の件については、地方自治法第100条及び会議規則第127条の規定により、議席に配付のとおり派遣したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、議席に配付のとおり議員派遣することに決定しました。

議員派遣につきましては、やむを得ず目的先、期間及び派遣議員について変更を生じる場合は、議長に一任願いたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、議長に一任することに決定しました。

—————○—————

第3 総務厚生常任委員会の閉会中の継続調査の申出

第4 建設経済文教常任委員会の閉会中の継続調査の申出

第5 議会広報委員会の閉会中の継続調査の申出

第6 議会運営委員会の閉会中の継続調査の申出

○議長（宮内道則君） 日程第3から日程第6までの各委員会の閉会中の継続調査の申出を、会議規則第36条の規定により一括議題とします。

各委員長から、お手元に配付の申出書のとおり提出されております。

お諮りします。各委員長からの申出書のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宮内道則君） 異議なしと認めます。したがって、各委員長からの申出書のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

-----○-----

○議長（宮内道則君） これで本日の日程は全て終了しました。

会議を閉じます。

令和5年第5回芦北町議会定例会を閉会します。

御苦勞様でした。

-----○-----

閉会 午前11時14分

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

芦北町議会議長

署名議員

署名議員